

とよなか国際交流センターおしらせ

VOL.86 とよなか国際交流センター広報誌 2016年5月



「ツバメも見れる季節になってきたので、ツバメと新緑を描きました！」
 水野舞花（大阪府立池田高校2年生）

とよなか国際交流センターからのおしらせピックアップ

問合・申込 とよなか国際交流協会（指定管理者） ☎06-6843-4343（水曜、年末年始を除く毎日、9:00~20:00）

5/26、6/2、9（木曜日、10:00~12:00）

多文化子育て支援ボランティア養成講座

内容：言葉や文化の違いから育児に不安を抱く外国人の現状などを考える。講座終了後、①外国人ママの居場所づくりの活動「おやこでにほんご」②多文化子ども保育のいずれかに参加
 対象：①小学生以下の子どもの保護者②保育士資格のある人／①②ともに、講座を全回出席

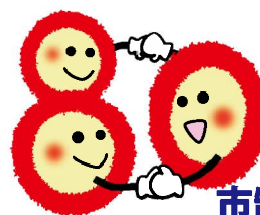
し、終了後ボランティアとして活動できる人。活 館にて)

動は①は毎週火曜日10時~12時に庄内図書館（三和町）、岡町図書館（岡町北）、千里図書館（新千里東町）②は毎週金曜日10時半~12時に同センターにて、各10人程度。

参加費：1000円（3回分）、先着順、要申込（保育有り）

5月9日（月）9時より申込み開始（電話もしくは来

※参加費は記載がないものは無料、場所は、記載がないものはすべてとよなか国際交流センターです）



夢もっとなよなか

市制施行 80 周年



フィナーレで全員で手を振るメンバー

2013年からとよなか国際交流センターで行われている多文化ダンス教室「わたばち(子どもクラス)」と「若者クラス」の最後の発表会「魅惑のエンターテインメントショー」が4月3日(日)14時からす

てつづホールにて行われました。

当日、出演者の保護者や友人などを中心に開場前から長い列を作り、会場はほぼ満席になりました。ステージの幕が上がると国内外の流行の音楽に合わせて子どもたちが軽快なダンスを踊り、若者たちも力強いダンスを披露。煌びやかなステージに会場は魅了されていました。またゲストのレペゼン東大阪JFC (Japanese-Filipino Children) のメンバーがK-POPにあわせてキュートなダンスを披露。観客はサイリウム(光る棒)を片手に大盛り上がり。最後には出演者全員がステージに上がりダンスを披露。2時間の公演はあっという間に過ぎていきました。

多文化ダンス教室では、様々なルーツを持つ子どもや若者たちが日々の練習はもちろん、今まで地域のイベントやダンスコンテストなどにも積極的に参加してきましたが、今回の発表会を節目に活動が終了となります。子どもたちのダンスは「学習支援・サンプルイス」(第一を除く日曜13時から15時)事業に引き継がれます。

今までご声援、ありがとうございました。

子ども母語教室に、タイ語が新たに加わりました!

子ども母語教室では外国にルーツのある子どもたちが、母語や文化を毎回楽しく学んでいます。この教室では親子のコミュニケーションがより良くなるように、会話や読み書きを学びます。また教室そのものが外国にルーツを持つ子どもたちにとって仲間作りの場にもなっています。今回タイ語が加わることで、より多くの子どもたちが「学びと出会いの場」を得られるようになりました。興味、関心のある方はお気軽にお問合せ下さい。

【子ども母語】

日時: 第2・4日曜日10:00~12:00

場所: とよなか国際交流センター

対象: 外国にルーツをもつ子ども

*現在、中国語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語クラスが開講しています。



母語教室、活動の一コマ

โครงการ เรียนรู้ภาษาแม่

โครงการเรียนรู้ภาษาแม่ คือ โครงการที่เด็ก ๆ ที่มี

ภูมิลำเนา ต่างชาติที่อาศัยอยู่ในญี่ปุ่นจะสามารถเรียนรู้ถึงภาษาแม่และ วัฒนธรรมของตนได้ ทั้งนี้เพื่อให้เกิดความเข้าใจระหว่าง การ สื่อสารของพ่อแม่กับเด็กมีมากขึ้น เด็กๆ สามารถเรียนรู้บท

สนทนา การอ่าน การเขียนของภาษาตนได้ในโครงการนี้ และ ยังสามารถเป็นที่สร้างความรู้จักกับเพื่อนจากภูมิลำเนาต่าง ๆ ได้อีกด้วย

วันเวลา: ทุกวันอาทิตย์ที่สองและสี่ของเดือน เวลา 10:00-12:00

สถานที่: โทโยนากะ โคะคุซึ โคเรียเวนเตอร์

คุณสมบัติ: เด็กที่มีภูมิลำเนาต่างชาติที่อาศัยที่ญี่ปุ่น

::* ภาษาที่รองรับการสอนในขณะนี้ คือ ภาษาจีน โปรตุเกส และสเปน***

ติดต่อสอบถาม: โทโยนากะ โคะคุซึ โคเรียเวนเตอร์ 06-6843-4343



Vamos! (第1回)

ネルソン百合子

小学校外国語体験活動、若者支援事業、日本語交流活動等のコーディネーター&ボランティアとして活躍していた、スリランカにルーツを持つネルソンさんが2016年4月よりブラジルに留学しています。ネルソンさんからの便りをどうぞ!

みなさん、こんにちは!ネルソン百合子です。今、ブラジルにきています。今年度、念願かかって(笑)、お知らせにブラジルからの報告を書かせていただくことになりました。よろしくお祈いします!タイトルの「Vamos!」は、ポルトガル語で「さあ!」「行きましょう」という意味です。語学学校の先生たちが、休憩の終わりに生徒たちにこう呼びかけます。

さて、なぜ私がブラジルにいるのかを、簡単に説明したいと思います。一言で言うと、日本以外の国で暮らしたくなったからです。それでなぜブラジルかと言うと、去年の夏にブラジルに遊びに行って、気に入ったからです。一番気に入ったのは、ブラジル人と一言で言ってもいろんな人種の人がいることです。見た目では誰が外国人で誰が現地の人か分からない環境で暮らし

てみたい、そう思ってやって来ました。

今は、オリンダという北東部の小さな町でホームステイしながら語学学校に通っています。オリンダは海沿いの町で、雰囲気がスリランカに似ています。なので、初めて来たのにどこか懐かしい感じがします。ポルトガルの影響が残った教会や建物が多い世界遺産に指定されている町です。

私が今まで行ったことがあるサンパウロやブラジリアのような大都市ではないので、時間がゆっくり流れています。ここで、6月末までポルトガル語を勉強します。午前中授業があって、午後は課外活動に参加したり、何もなければ海を見ながらぼんやりしたりしています。ほんとうにのんびりした暮らしです。ですが、授業は毎日先生と1対1なのでなかなかハードです。学校には6人学生がいます。その中には日

本人も一人います。ですが、学内ではみんなポルトガル語を使うようにしているので彼女とも日本語ではほとんど話しません。課外授業では料理をしたり、カラオケ大会をしたり、ブラジルの映画を見ます。先生と学生の距離が近くて、友達同士のような感覚です。

さて、6月以降のことですが、実はまだ決まっていません。サンパウロの近くで勉強を続けるか、仕事をしたいとも考えています。次回の私の報告では私がどこにいるか、みなさん楽しみにしてください!



学校の友人たちと一緒に(中央奥が筆者)

6/2(木)

10:00~12:00

公開講座「じぶん まる!~

性って誰かに決められるもの?」

「あたりまえ」とされる性の在り方の中で生きにくさを感じ「じぶん」を生きることができないセクシュアルマイノリティ(性的少数者)の子どもたち。セクシュアルマイノリティの子どもたちは家庭、学校、社会の中で多くの悩みや、不安を抱えています。



この講座では、セクシュアルマイノリティの子どもたちの居場所づくりに取り組むお二人から、ご自身の経験とともに、性の多様性やセクシュアルマイノリティをとりまく社会の現状についてお話をうかがい、すべてのこどもたちひとりひとりの権利が尊重される社会をつくるために、こどもに関わる人びとが何をすべきか考えます。

●お話：田中一步さん、近藤孝子さん

(セクシュアルマイノリティのこどもたちの居場所づくりにじいるi-Ru(アイル)スタッフ)

●とき：2016年6月2日(木) 10:00~12:00

●対象：テーマに関心のある方

●一時保育：あり(1歳~就学前/5月30日までに要申込)(こども1人につき200円) ●参加費：500円 ●定員：20人(先着順)

※本講座は多文化子育て支援ボランティア養成講座の第2回として実施しますが、公開講座ですので、どなたでもご参加いただけます。

ご報告

(協会自主事業ご案内)

若者支援事業から

とよなか国際交流協会では、2013年度より外国にルーツをもつ若者の支援事業を実施してきました。家族の事情により、本人の意思とは関係なく渡日や帰国をよぎなくされる若者たちが多くセンターに関わるようになり、日本語保障や進路相談などが課題となってきたからです。また、日本生まれ・育ちの若者の中にも日本語の学び直しが必要な人や、悩みを聴きあえる居場所を求めている人もいます。従来の子ども向け事業(学習支援・居場所づくり「サンプレイス」、「子ども母語」など)を卒業した後、若者が活動できる場所がほしいという声があったことも理由の一つです。ただでさえ、若者世代は、社会とのつながりが徐々に増えていく時期でもあります。日々の生活の中で、相談事やストレスを抱えている人も少なくありません。

この3年間の活動で、若者たちの自己表現や安心・安全でいられる場づくりの土台が徐々に構築されてきたと実感しています。一方で、より多くの人が参加しやすい時間帯や内容の工夫が必要だとわかってきた活動もあります。(詳しくは、『子ども・若者通信No3「子ども・若者Walker<はるごう>』(2016年4月5日発行)をご参照ください。)2016年度からは、これまでの成果をいかしつつ、より発展的な活動を目指していく予定です。外国にルーツをもつ若者に対して切れ目のない支援を行うとともに、地域社会とのつながりも意識していく予定です。今後も変わらぬ応援をお願いします。



なんぢゃ・カンチャ・言わせてもらえば(第86回)

「パレードへようこそ」連帯こそが力なり 皇甫康子(ふぁんぼ・かんぢゃ)

『パレードへようこそ』(原題:Pride)は、2014年にイギリスで製作された映画です。1984年、サッチャー首相は赤字の炭鉱を閉鎖するという計画を出します。イギリスは産業革命を達成した先駆けの国です。工業化による大量生産の背景には、17世紀初頭の大航海時代に占領した、インドをはじめとする植民地での綿や紅茶などの豊かな資源と市場がありました。

その繁栄は第一次世界大戦まで続きます。第二次世界大戦後は労働党政権の「ゆりかごから墓場まで」というスローガン通り、福祉国家となりました。多くの企業が国営化されており、競争のない時代が40年近く続き、経済的な低迷を迎えます。サッチャー首相は1980年代に企業の民営化を図り経済成長を促しましたが、一方で大量の失業者を生み出しました。

炭鉱閉鎖という危機に労働者たちが黙っているはずがありません。政府の赤字炭鉱閉鎖計画に反対し、全国炭坑夫組合(NUM)が、ストに突入します。レズビアンやゲイの人たちが炭鉱労働者への警察の凄まじい弾圧を知り、支援活動を開始します。街頭で集めたお金を送ろうとしますが、応えてくれたのはウェールズの田舎の小さな炭鉱町でした。どこの炭

鉱も偏見から、支援を受けようとはしないのです。

支援金を受け取ると返事した炭鉱も実は、電話を受けた人の勘違いから承諾したことが後で判明しますが、労働組合の代表はロンドンで活動するレズビアンやゲイの人たちと話し、町に来てもらうことにします。歓迎会が準備されますが、役員の反応は思わしくありません。「病気がうつる」とか、「気持ちわるい」とか言いたい放題です。家族や知人、友人たちの差別的な態度に、ショックを受ける女性たちもいますが少数です。歓迎会当日、レズビアンやゲイの支援者を見て、席を立つ人、悪態をつく人、怖がる人と散々な様相となりますが、一緒にお酒を飲む人やダンスを踊る人も出てきました。だんだん、打ち解けはじめ、交流する姿があちこちで見られるようになります。労働者が移動するためのバスが故障したことを知り、さらなる支援が必要だと、ロンドンに戻ったレズビアンやゲイの人たちを待っていたのは、悪意を持った新聞社の記事でした。情報提供者は考えを変えようとし、炭鉱労働者の家族でした。ついには労働組合の中央本部からも、世論を考えて支援を受けないようという指令まで届きます。

嫌がらせにもめげず、街頭で資金集めをするゲイの人が襲われる事件が起こり、炭鉱労働組合のメンバーは、家族のように心配します。そして、組合中央本部の指令に承服せず、支援を受けることを決議するのでした。

1985年に開催された「レズビアン&ゲイプライド」にバスを連ねて、たくさんの炭鉱労働組合のメンバーが応援に駆けつけました。パレードの先頭には彼らの姿があり、青空に各地の組合の旗が力強くはためいています。ストライキの翌年の労働党大会で、規約に性的マイノリティの人たちの権利を盛り込んだ議案が可決されました。全会一致の支持をしたのが全国炭鉱労働組合でした。実話に基づいた映画は、同じ立場の人同士が協力しあうだけでなく、苦境に立つ異なる立場の人たちを支援し、連帯することの尊さを気づかせてくれます。

日本でも教科書無償の闘いや労働運動など、市民的権利を持たない在日朝鮮人がたくさん参加し、共に闘ったという歴史があります。しんどい立場だからこそ、人を思いやり立ち上がる。そんな姿に触れると、生きる勇気が生まれます。連帯こそが力なり。

とよなか国際交流センターの事業について

定例事業(以下すべて参加費は無料です)

国際交流に関する情報の収集および提供事業

センター内の「ふれあい交流サロン」にて、子ども、おとな向けの書籍をお借りいただけます(多言語絵本もあります)。また、様々な媒体で定期的に日本語、多言語で情報発信を行っています。

国際理解推進事業

子ども、おとなを対象とした多文化共生・国際理解の勉強会を随時行っています。「(おまつり)地球一周クラブ」「市民セミナー」「世界を食べよう」「多文化・多言語セミナー」等

在住外国人に対する支援事業

「子ども母語」 第2・4日曜日10:00~12:00

・母語学習(中国語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語)を通じて仲間づくり、居場所づくりをしています。幼児・小学生・中学生・高校生が参加しています。スタッフも外国にルーツをもつ学生です。

「学習支援サンプレイス」日曜日13:00~15:00※第1日曜除く

・日本語と学習支援の活動を通じて子どもたちの居場所づくりをしています。小学生・中学生・高校生が参加しています。ボランティアは大学生で、外国にルーツをもつ大学生ボランティアも多数参加しています。

「多文化保育にこここ」 木曜日13:30~15:30、金曜日10:30~12:00

・外国にルーツを持つ就学前の子どもたちが、さまざまな人と出会い、社会性を身につけるづくりをしています。他…

在住外国人に対する相談事業

夫婦関係DV、在留資格、行政手続き、医療、労働、教育、子育て、人間関係等、何でも相談できます。面談でも、電話でもOK。秘密厳守!

毎週金曜日11:00~16:00 (電話06-6843-4343)

対応言語:フィリピン語・タイ語・中国語・韓国朝鮮語・スペイン語・インドネシア語・ベトナム語・英語・ネパール語・ポルトガル語・日本語

国際交流活動への住民の参加促進事業

留学生ホストファミリー事業ほか、日本語交流活動にも数多くの市民がボランティアとして参加しています。

日本語交流活動

「もっともっとなつかえるにほんご」月曜日10:00~12:00
 「とよなかにほんご・木ひる」木曜日13:30~15:30(保育活動あり)
 「とよなかにほんご・金あさ」金曜日10:30~12:00(保育活動あり)
 「にちようかちやがちやだん」日曜日10:00~12:00※第1日曜除く

地域の外国人とボランティアが会い、日本語交流を通じて生活に必要な日本語を学び、豊かな人間関係を築く場をつくっています。

「おかまち・おやこでにほんご」(場所:岡町図書館)
 「しょうない・おやこでにほんご」(場所:庄内図書館)
 「せんり・おやこでにほんご」(場所:千里図書館)
 火曜日10:00~12:00

乳幼児を抱えて家にこもりがちな外国人女性が子どもを連れて安心して集い、交流・情報交換ができるママづくりの場を図書館の協力のもとで実施しています。運営ボランティアも子育て中の女性です。

…その他、市民参加型のイベントや人権や多文化共生に関する講座、対話の場なども実施しています。また、ボランティアについてのお問合せや国際交流団体の運営相談にも随時対応しております。お気軽にお問合せ下さい。

施設管理に関する業務:貸室について

★駅前で便利!★ 会議やイベントにぜひご利用下さい。

センター貸室使用申込み…受付時間:開館日の午前9時から午後8時まで
 会議室、料理室、音楽・健康づくりルーム、和室、プレイルーム、ギャラリーを初めてご使用になる場合は、事前の登録が必要になりますので、お問合せ下さい。

とよなか国際交流センター貸室使用料金表

| 部屋名 | 広さ (m ²) | 定員 (人) | 料金 (円) | | | | 設備 |
|-------------|----------------------|--------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|
| | | | 午前 9:00~12:00 | 午後 13:00~17:00 | 夜間 18:00~21:30 | 全日 9:00~21:30 | |
| 会議室 1 | 41 | 18 | 520 2,600 | 720 3,600 | 640 3,200 | 1,880 9,400 | ホワイトボード(小) |
| 会議室 2A | 34 | 21 | 480 2,400 | 600 3,000 | 520 2,600 | 1,600 8,000 | |
| 会議室 2B | 65 | 48 | 840 4,200 | 1,120 5,600 | 1,000 5,000 | 2,960 14,800 | |
| 会議室 2C | 33 | 21 | 440 2,200 | 560 2,800 | 520 2,600 | 1,520 7,600 | ホワイトボード(2ABC2BCを一堂として使用する場合は不可) |
| 会議室 3 | 55 | 18 | 520 2,600 | 720 3,600 | 640 3,200 | 1,880 9,400 | ホワイトボード(大) |
| 会議室 4 | 63 | 30 | 840 4,200 | 1,080 5,400 | 960 4,800 | 2,880 14,400 | ホワイトボード(小)、流し台 |
| 会議室 5 | 27 | 12 | 360 1,800 | 480 2,400 | 400 2,000 | 1,240 6,200 | ホワイトボード(大) |
| 和室 | 38 | 18 | 480 2,400 | 680 3,400 | 560 2,800 | 1,720 8,600 | 10畳 |
| ギャラリー | 18 | - | 240 1,200 | 320 1,600 | 280 1,400 | 840 4,200 | 壁面ガラスケース、ビクターテーブル |
| プレイルーム 1 | 57 | 20 | 880 4,400 | 1,160 5,800 | 1,040 5,200 | 3,080 15,400 | 子ども用トイレ |
| プレイルーム 2A | 43 | 15 | 680 3,400 | 880 4,400 | 760 3,800 | 2,320 11,600 | 子ども用トイレ、畳(一部) |
| プレイルーム 2B | 52 | 18 | 800 4,000 | 1,040 5,200 | 920 4,600 | 2,760 13,800 | 子ども用トイレ |
| 音楽・健康づくりルーム | 113 | 40 | 1,480 7,400 | 2,000 10,000 | 1,760 8,800 | 5,240 26,200 | アップライトピアノ(必要な調律の費用は各使用者負担)、ビデオ、カセット、CD、MD、マイク、壁面鏡、更衣室(ロッカー、洗面台) |
| 料理室 | 90 | 30 | 9:00~13:00 1,720 8,600 | 13:30~17:30 1,720 8,600 | 18:00~21:30 1,560 7,800 | 9:00~21:30 5,000 25,000 | 調理台6台のうち昇降式調理台2個、準備室(ロッカー、洗面台、ホワイトボード) |

備考 1. 2区分にわたって継続して使用する時の使用料は、それぞれの区分の料金の合計額とします
 2. 料理室の使用区分のみ、料理室枠内の記載時間とします
 3. 上段:国際交流目的で使用する時の料金(内容審査あり)、下段:その他の活動で使用する時の料金
 4. 使用時間には、準備、後片付けの時間を含みます(時間厳守)
 5. 鍵は時間の5分前からお渡しできます。その際「使用承認書兼領収証」を必ずご提示ください

◎国際交流の活動を応援します!◎

登録グループ制度についてのご案内

とよなか国際交流センターでは「登録グループ制度」を設置し、国際交流の活動に組織的かつ継続的に取り組む方々の自主的な活動推進のための支援を行っています。

登録グループへの支援内容(一部)
 ・国際交流目的で貸室を毎月2コマ(午前・午後・夜間のいずれか1室につき1コマ)まで無料で使用できます。
 ・センター内の掲示板で情報提供できます
 ・印刷機が無料で使用できます(紙は要持ち込み)

・センター内のロッカーが無料で利用できます。…など
 その他、登録グループになるための要件、登録後の役割等については「登録グループ制度要項」に詳細に記載しています。豊中市のウェブサイトからもダウンロードできますので、ご関心のある方はご覧下さい。https://www.city.toyonaka.osaka.jp/jinken_gakushu/kokusai/tourouguru-pu.html
 もしくは、当センターの受付でも入手可能ですので、お問合せ下さい。

◎「登録グループ活動紹介」の冊子をセンター受付にて無料配布中◎



～地域や学校での国際理解教育にお役立て下さい!～

各国の民族衣装などを貸出します!

豊中市の公的教育機関は貸出料無料! 詳細はHPもしくはお電話にてお問い合わせ下さい。

【お問合せ】 TEL 06-6843-4343 FAX 06-6843-4375

とよなか国際交流協会(指定管理者) Facebookはほぼ毎日更新中!「公益財団法人とよなか国際交流協会」で検索!

開館時間:午前9時~午後9時30分/業務受付時間:午前9時~午後8時 休館日:毎週水曜日、年末年始
 アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分(阪急梅田駅から徒歩11分)
 地下3階に有料駐車場有り(210台)、1階に有料駐輪場あり(自転車・バイク)

編集・発行 公益財団法人とよなか国際交流協会(とよなか国際交流センター指定管理者)
 〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1-1-1-601 とよなか国際交流センター
 E-mail: atoms@a.zaqq.jp http://www.a-atoms.info



◎アクセス:阪急宝塚線「豊中」駅から徒歩1分